

科目名		電気工事実習 II			
担当教員		藤田 清野		実務授業の有無	
対象学科		電気電子工学科	対象学年		2
必修・選択		必修	単位数		
			時間数		12
授業概要、目的、授業の進め方		一般用電気工作物のケーブル配線工事、金属管工事、合成樹脂管工事を組み合わせた実習課題を時間内に作成する。指示書から設計、施工計画、配線図、材料準備、施工、検査、を行う。			
学習目標 (到達目標)		電気工事士技能試験を合格			
テキスト・教材・参考図書・その他資料		電気工事実技教科書（独）雇用・能力開発機構、配布プリント等			
NO.	学習方法・準備学習・備考				
1	電気工事全般		施工計画を立て、品質管理、施工管理をして課題を納期に間に合うように施工する。		
2	金属管工事		金属管の切断、ねじ切り、曲げ加工、接続を行う。		
3	合成樹脂管工事		P F 管を使用して施工する。		
4	モーターシーケンス回路		押しボタン2か所操作の回路、可逆マグネットスイッチ回路の作成。		
5	制御回路		自動点滅装置、タイムスイッチを使った回路の作成。		
6	引込線工事		DV線布設と電力計分電盤取り付け		
7	高所作業車特別教育実技		高所作業車の操作		
8	屋外昇柱実習		屋外電柱の昇り降り。安全管理。		
9	特別教育		フルハーネス型墜落制止用器具での作業。		
10	電気工事士技能試験		電工1種技能試験公表問題を練習。		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点	課題	期末試験			
5 %	15 %	80 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			作業着、工具、安全靴、帽子など安全管理をしっかりとしましょう。		
実務経験教員の経歴		電気技術者として4年の実務			